

球磨村 おがわ瓦版

老人会も復興に一役

地域学校協働本部(上野勝則本部長)は、11月21日(土)渡小学校内のゴミ搬出等を行なった。

作業は、コミュニティスクール、PTA、渡小教職員、一般社団法人・オープンジャパン、老人会ら約70人が参加しそれぞれに分担して行った。10月にオープンジャンパンの支援で校内に散乱したゴミの片づけや運動場に堆積した土砂撤去作業を行っており、そのゴミの分別と搬送をした。

老人会は豪雨災害で運動場のフェンスに詰まったがれきやごみを取り除いたり、花壇に堆積した土砂の撤去などの作業に汗を流した。

今回は、球磨村老人会(東研志会長)のニコニコ会、みどり会、鏡山長寿会の会員も、少しでも力になればと参加。球磨村老人会としては、今年度初めての活動になった。

上野勝則本部長は「みんなの力で、多くのことを小さな負担で、少しずつでも復興につながっていったら」と話した。



みんなの力で少しずつ

令和2年12月15日
編集発行 宮原 修
090-9585-8894

花を咲かせて地域を明るく!

★11月28日(土)先週、堆積した土砂を取り除いた渡小学校庭花壇に、比較的被害の少なかった小川地区や近隣地域の人たち10人と地域学校協働本部の上野勝則本部長、森佳寛教育長、犬童裕美渡小学校長、井口秀明同教頭も参加し、花壇中央にチューリップの球根植付け、周りにパンジーやサフラン、ビオラなどの花を植えた。

チューリップの球根はボランティア団体「QOG」より、花は神瀬ボランティア団体「かわせみ・やませみ」(代表 伊高綾香さん)より提供された。

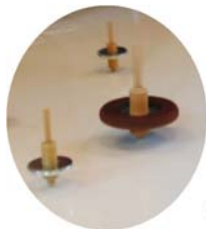


チューリップの花が咲く頃は、地域も学校も明るく!

第2回くまむらっ子夢広場

球磨村教育委員会は、11月29日(日)午後より村多目的広場仮設団地集會場で、渡小学校運営協議会委員の立野満義さんを講師に回転コマ作りをした。

夢広場には、子どもや保護者ら20人が参加し、森佳寛教育長も一緒になって回転コマ作りに挑戦。立野さんは一人一人に分かりやすく丁寧に教えていた。



回転コマは竹と金属を組み合わせた回転し続ける不思議な回転コマで、盤上で2分近く回す子どももいた。

参加した親子は「コマの芯を細かくするところや金具をはめたりするところがむずかしかったけど楽しかった」「子供と楽しい時間を過ごせました」など、自作のコマを何度も回して楽しい時間を過ごした。

自作のコマを回して競う子供たち



復興に向けて頑張る!

髪のアトリエあきよし

渡地下地区の国道219線沿いに、今年7月で18年目を迎えた理容業の佐々木章好さん(45)の家屋も7月豪雨で2階天井(約6メートル)まで浸水した。

渡地区では「理容あきよし」とコンビニの2店舗のみ。店舗兼住居だったが、8月19日に仮設店舗にて再開した。今後は店舗のみ今までの場所で営業。住居は未定。

仮設に住む佐々木さんは「おかげさまでお客様も少しずつ戻ってきていただいている。頑張るしかない」と語った。



被災にあった「理容あきよし」の全景